

防災教育における防災能力の向上

6月21日午後、ダナン人民委員会副委員長の Nguyen Ngoc Tuan 氏が、SEEDS Asia の理事長ショウ・ラジブ氏と面会し、「中部ベトナムにおける学校防災教育の能力向上支援プロジェクト」の進捗と成果について協議した。同事業は、日本国際協力機構（JICA）の助成を受けており、第1期の事業期間は2010年3月から2011年の3月まで、第2期は2011年9月から2013年9月まで。

会議では、まずラジブ氏が第1期事業の説明をした。同事業において、SEEDS Asia はダナン工科大学と協力し、地域密着型の災害リスクマネジメントを実現するための能力強化プログラムを4つの小中学校で実施した。第2期事業は、7つの防災拠点学校にて実施中で、将来的には、これらの拠点学校がダナン市、フエ、クアンナムにおける防災情報センターとして機能する見込み。ダナン教育訓練省との協力により、教育関連職員を対象としたスタディツアーを実施し、2012年7月に宮城県の気仙沼を訪問し、現地で蓄積された防災の知見を学んだ。このスタディツアーには、ダナンで実施されている現行事業の持続可能性を探り、クアンナムでの次期事業について準備するという目的もあった。

教育訓練省を統括する Le Trung Chinh 氏は、次のように語った。「防災トレーニングは生徒が災害を理解し、災害に対する備え方を知り、そして災害による被害を軽減するための対処法を学ぶために有効である。また、学校とコミュニティのコミュニケーションと情報共有も、災害リスクの軽減と災害後の復興には重要。同事業の成功は、ダナンの小中学校で現在課外活動として扱われるこれらの活動を、正規の科目へ採用するための足掛かりとなるだろう。」

続いて、ダナン人民委員会副委員長 Nguyen Ngoc Tuan 氏が、同事業の有効性、意義を高く評価した。これまでダナン市では、小中学校における防災意識と技術の向上に重点を置いた事業はなかった。ダナン市は川や海に近く、災害リスクが高い地域であり、毎年洪水や台風の被害を受けている。それでも、災害への備えや対策は強化されなかった。Nguyen Ngoc Tuan 氏は、「応急処置や避難訓練などの防災トレーニングが実施されれば、生徒、教員、地域住民の防災技術は向上し、災害に対処できるようになるだろう」と、語った。

出典：

http://www.danang.gov.vn/portal/page/portal/danang/chinhquyen/tin_tuc?p_pers_id=42058&p_folder_id=&p_main_news_id=42560495